

区分・種別	県指定史跡		
名称	よこやまじょうあと 横山城跡		
所在地	松山市麓		
所有者	麓部落	管理団体	松山市
指定年月日	昭和28年2月13日		
解説	<p>横山城跡は、標高460mの横山山頂にあって、北に善応寺の雄甲・雌甲などの城塞を、西には粟井坂の宅並城を配置し、後方は五明口を経てはるか本城の湯築城に通ずる戦略的要地にある。建武年間（1334～1336年）河野氏が本拠地を湯築城に移したとき、その背後の守りとして同じ時期に河野通武が築いたといわれ、以後、その子孫の南氏が代々の城主となった。</p> <p>天正13（1585）年、豊臣秀吉の四国統一に対し、南通具は宗家河野氏とともに戦ったが敗れ、横山城は廃城となった。</p> <p>城は山城で、東西約35m・南北約20mの本丸・出丸・「馬乗り駄場」と呼ばれる郭が設けられている。本丸の中央部には、「太鼓岩」とも「天狗岩」ともよばれる巨岩があり、その表面のいたるところに穴がうがたれている。これは、岩上に檣を組み立てた際の柱穴と考えられている。</p>		

